

佳作

記念すべきだったパリオリンピック

埼玉県さいたま市立新開小学校三年 細倉 有紗

七月二十六日から始まったパリオリンピック。わたしが一番感動したのは、あべ兄妹が出場した、じゆう道です。兄妹同日ゆうしょうで、金メダルをとると、きたいしていました。

わすれもしないわたしのお兄ちゃんのとん生日の七月二十八日が、あべうたせん手のし合の日で、家ぞくみんなでおうえんしました。一回せんは、ごうかいな一本がちで、強いあべうたせん手を見たので次もかてると、きたいしていました。二回せんの相手が、せかいランキング一位ウズベキスタンのせん手とたいせん、あべうたせん手が、せっきよくてきにわざをしかけ、ゆう位にすすめていたので、「いける」と思った時いっしゅんのすきをつかれて、「一本まけを見てしまいました。あべうたせん手が、頭をかかえながら立ち上がり目を大きく見開いてる顔

が今もいんしょうにのこっていて、そのすがたを見たわたしと家ぞくは、ぼうぜんとなり、みんなが言葉をうしなってしまうました。

れいをおえて、相手のせん手とあく手をかわしましたが、し合会場をおりる前にまたれいをするとうずくまり一人で歩けずコーチにだきかかえられるようにして会場を下りましたが、大きな泣き声とくずれるあべうたせん手を見て、わたしは正直ショックでした。どうしてこんなにも泣くのか、わたしは家ぞくに聞きました。お父さんが、

「この日のために、かつために、一生けん命練習してきたからまけた事がくやくしてしょうがないんだよ。」

と教えてくれました。お母さんは、あべうたせん手を見て、なみだをうかべてました。

あべうたせん手のなみだをこらえてのコメントに、「たくさんのおうえんやサポートのおかげでこのぶ台に立てたことを感しゃしたい。兄の金メダルについてはしんじて全力でおうえんして金メダルを取ったしゅん間を目にやきつきたい。」

とあります。まけたその日に、このコメントを言えるあべうたせん手にこれからもおうえんしたいと思

いました。

そんな中、兄の一二三せん手は、見事ゆうしょうし、金メダルをとってくれました。一二三せん手が、「ぜったいに二人でオリンピックで金メダルを取るまでは、やりつづけます。」

と言った言葉は、兄妹のきずなの強さを感じて感動しました。

わたしにも七才上に、兄がいます。スポーツとべん強をがんばっている兄は、わたしの自まんです。

わたしは、バスケットボールが上手くなるとう目ひようがあります。目ひようたっせいのために、ど力する事を、あべ兄妹から学びました。